

## マツダ純正ボディコーティング MG-PREMIUM

# お手入れ方法



この度はボディコーティングMG-PREMIUMをご購入いただき、まことにありがとうございました。以下「お手入れのポイント」をよくお読みいただき、適切なお手入れをお願いいたします。お客様ご自身による定期的で適切なお手入れは、コーティング効果を持続させ、美しいボディコンディションを維持するためにも大切です。

### 水洗いでは落ちにくい 汚れがいたら

- メンテナンスシャンプー(大ボトル)  
水1ℓにキャップ2杯を希釈して使用します。



### ツヤ・撥水効果が 落ちた時には

- メンテナンスコート剤(スプレーボトル)



### シミやしつこい汚れには

- シミ取り剤(小ボトル)  
汚れ部分にスポンジで塗布して使用します。



## お手入れのポイント

### 定期的に洗車してください



ボディが汚れてきたら早めに水洗いで汚れを落としてください。なお、汚れが目立たない場合でも目に見えない汚れが付着していますので、月に一回を目安として、定期的に洗車を行うとコーティングを長持ちさせやすくなります。取れにくい汚れ(油汚れ、タールなど)は、付属のメンテナンスシャンプーをお使いください。

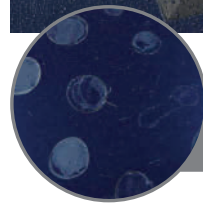
- ⚠ 長期間洗車を怠った場合、水洗いやメンテナンスシャンプーでは汚れが落ちない場合があります。
- ⚠ 洗車は水道水をご使用ください。井戸水の場合、井戸水に含まれている成分がコーティング被膜に悪影響を及ぼす場合がありますので、ご使用はお避けください。
- ⚠ 施工後1ヵ月以降は、洗車機のご利用も可能です。「水洗い」または「シャンプー」モードで洗車してください。その他の洗車モードの場合、コーティング被膜に悪影響を及ぼす場合がありますので、ご使用はお避けください。
- ⚠ 濃色車はプラン傷が目立ちやすいため、手洗い洗車をおすすめします。

### 洗車後の水分は早めに拭き取ってください



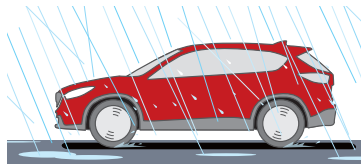
※シミの原因になります  
洗車終了後、必ず早めに水滴を拭き取ってください。水滴を適切に拭き取らなかった場合、水道水に含まれるカルキ等の成分が付着し(焼き付き)白いリング状のシミになる場合があります。

- ⚠ 特に、水分が乾きやすい環境下(炎天下など)での洗車は、充分にご注意ください。
- ⚠ 一度付着したシミは洗車では容易に取れません。付属のシミ取り剤をご使用いただくか、販売店スタッフにご相談ください。なお、お車の状態によってはコーティング再施工(有償)が必要となります。



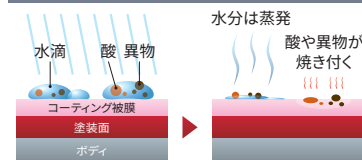
◀ 水道水の放置による水シミ

### 雨の後は早めに洗車してください

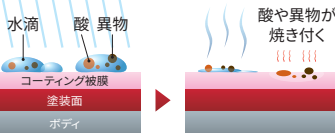


※シミの原因になります  
雨に含まれる酸や異物が付着しシミになる場合がありますので、早めの洗車をお願いします。

⚠ 一度付着したシミは洗車では容易に取れません。付属のシミ取り剤をご使用いただくか、販売店スタッフにご相談ください。なお、お車の状態によってはコーティング再施工(有償)が必要となります。



水分は蒸発



### 鉄粉、鳥糞・虫の死骸、樹液、花粉は放置しないでください



※シミの原因になります  
鉄粉、鳥糞・虫の死骸、樹液、花粉、黄砂等を放置しておくと、コーティング被膜にダメージを与えシミになる場合があります。付着した場合は、洗い流すなど早めに取り除いてください。

⚠ 一度付着したシミは洗車では容易に取れません。付属のシミ取り剤をご使用いただくか、販売店スタッフにご相談ください。なお、お車の状態によってはコーティング再施工(有償)が必要となります。



コーティング被膜へダメージ

### ツヤ・撥水効果が低下したと感じたら



コーティング表面に汚れが付着すると撥水効果が低下します。洗車のうえ、メンテナンスコート剤をご使用ください。

- ⚠ 撥水効果、及び効果の持続は、お車の使用環境やメンテナンス状況によって異なります。
- ⚠ ツヤ、及び撥水効果が復活しない場合、洗車のみでは落ちない汚れがコーティング面に付着していると考えられます。

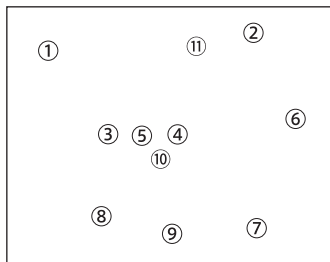
### ご注意ください

- ワックス・コンパウンド・他のコーティング剤は、コーティング被膜を傷める恐れがありますので使用しないでください。
- ボディの板金塗装修理をした場合は、修理部分のコーティング再施工をお奨めします。再施工されない場合色ムラなどの原因となることがあります。板金塗装修理/コーティングの再施工に関しましては、販売会社にご相談ください。
- サポート適用の条件として「お客様ご自身による定期的で適切なお手入れや洗車」と「12ヵ月毎のメンテナンスサービスを販売会社でお受けいただく」ことが必要です。

# 付属メンテナンス商品のご使用方法

定期的で適切なお手入れは、コーティング効果を維持するためにも大切です。

## 付属メンテナンスキット



- ①メンテナンスシャンプー270mℓ・・・1本
- ②洗車スポンジ(黒色)・・・1個
- ③メンテナンスコート剤220mℓ・・・1本
- ④メンテナンスコート剤用クロス(淡グレー)・・・1枚
- ⑤シミ取り剤50mℓ・・・1本
- ⑥シミ取り剤用スポンジ(淡グレー)・・・1個
- ⑦洗車拭き取りクロス(濃グレー)・・・1個
- ⑧施工証明書・・・1枚
- ⑨施工ステッカー・・・1枚
- ⑩お手入れ方法(本紙)・・・1枚
- ⑪メンテナンスボックス・・・1個

付属のメンテナンス剤は、単品でお買い求めいただけます。マツダ販売店にお問い合わせください。

## メンテナンスシャンプーの使用方法

### ①水洗い

お車についているホコリ、汚れ等を水洗いしてください。

### ②シャンプー洗車

- 【1】1ℓの水に対し、キャップ2杯分のメンテナンスシャンプーを入れ、よく泡立ててください。
- 【2】付属の洗車スポンジ(黒色)に水で薄めたメンテナンスシャンプーを含ませ、お車全体を洗ってください。

### ③洗い流し

メンテナンスシャンプーが乾かないうちに水道水で洗い流してください。

【注1】井戸水、温泉水は鉱物を多量に含んでおり、お車の塗装やコーティングに悪影響を与える場合があります。ご使用はお避けください。

### ④拭き上げ

付属の洗車用拭き取りクロス(濃グレー)でよく水滴を拭き取ってください。

【注2】洗車終了時、ボディの水滴をきちんと拭き取らないと水道水のカルキ分が付着して白いリング状に残ってしまうことがあります。水分が乾きやすい炎天下での洗車は特にご注意ください。

水道水の放置による水シミ

## メンテナンスコート剤の使用方法

※キズ防止の為、お車についているホコリ、汚れをあらかじめ洗い流してください。※水が多少残っていても作業できます。

### ①水洗い

お車についているホコリ、汚れ等を水洗いしてください。ボディに残った水分は良く拭き取ってください。

### ②スプレー塗布

- 【1】使用前に良く振ってください。
  - 【2】クロスに2ショットを目安にスプレーしてください。
  - 【3】ボディに塗り広げてください。
- ※ボディに直接塗布しないでください。

### ③拭き取り

クロスのきれいな面で仕上げ拭きを行ってください。

※シミ、ムラがある場合は、その部分に再度、本液をスプレーしたクロスで塗り広げすぐに仕上げ拭きを行ってください。

ボンネット1枚程度の範囲ずつ、②～③の作業を繰り返し行ってください

## シミ取り剤の使用方法

～ シャンプー洗車で落ちない汚れ、シミ、ピッチ・タールは、下記の手順に従いシミ取り剤を使って除去してください ～

### ①シミ・汚れ部分に専用シミ取り剤をスポンジで塗布

【1】シミ取り剤用スポンジ(淡グレー)に液をつけ、ボディに塗り広げてください。

【2】汚れが落ちにくい場合は、液を多めにしてやや強めに擦り落としてください。

### ②洗い流し

【1】表面が白く乾くまで、しばらく乾燥させてください。


【2】表面が白く乾いてきたら、スポンジを用いて水で洗い流してください。

【3】洗車用拭き取りクロス(濃グレー)で水滴を良く拭き取ってください。

### ※メンテナンスコート剤の塗布と拭き取り

シミ取り剤の使用部分は撥水性が落ちることがあります。その場合、付属のメンテナンスコート剤をお使いください。

●このカタログは2019年10月中旬現在のものです。●掲載商品の仕様、価格は予告なく変更することがあります。●このカタログは地球環境にやさしい印刷用紙を使用しています。

このカタログについてのお問い合わせは、お近くの販売会社または  マツダ(株)コールセンターへどうぞ 全国共通フリーダイヤル ☎0120-386-919 受付時間/平日9:00～17:00 土・日・祝日9:00～12:00 13:00～17:00

# マツダ株式会社